

会 議 事 録

1 会議名	平成30年度第1回長岡市公立大学法人評価委員会
2 開催日時	平成30年7月5日（木）午後1時30分から午後4時まで
3 開催場所	アオーレ長岡 西棟3階 協働ルーム
4 出席者名	<p>(委員) 中村委員長 山崎委員 草間委員 高橋委員 槇委員</p> <p>(説明のために出席した関係者)</p> <p>公立大学法人長岡造形大学 水流理事長 公立大学法人長岡造形大学 和田学長 公立大学法人長岡造形大学 河村副理事長 公立大学法人長岡造形大学 久島事務局長 公立大学法人長岡造形大学 中村企画調査室長 公立大学法人長岡造形大学 白崎企画調査室係長 公立大学法人長岡造形大学 五十嵐企画調査室主任 公立大学法人長岡造形大学 野上財務課長</p> <p>(事務局) 長岡市地方創生推進部 渡邊部長 長岡市政策企画課 茂田井課長 長岡市政策企画課 河上課長補佐 長岡市政策企画課 林係長 長岡市政策企画課 渡邊主査 長岡市政策企画課 渡辺主査</p>
5 欠席者名	なし
6 議事	<p>(1) 平成29年度業務実績報告について</p> <p>(2) 第1期中期目標期間における業務実績見込報告について</p> <p>(3) 役員報酬規程の改正について</p>

7 審議結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事（１）について、長岡造形大学と委員の間で質疑応答を行い、今後の評価書作成に反映させていくこととした。 ・ 議事（２）について、長岡造形大学と委員の間で質疑応答を行い、今後の評価書作成に反映させていくこととした。 ・ 議事（３）について、役員報酬が適正な改正内容であることを確認した。
8 審議の内容	
事務局・政策企画課課長補佐	<p>ただいまから、平成30年度第1回長岡市公立大学法人評価委員会を開催いたします。</p> <p>はじめに、渡邊地方創生推進部長からごあいさつ申し上げます。</p>
事務局・地方創生推進部長	<p>（地方創生推進部長あいさつ）</p>
事務局・政策企画課課長補佐	<p>本日の評価委員会は、委員5名全員が出席されておりますので、長岡市公立大学法人評価委員会条例第5条第3項の規定を満たしていることをご報告いたします。</p> <p>なお、このたびの評価委員会は長岡造形大学の平成29年度業務実績に関する説明等のため、長岡造形大学の皆さんからもご出席いただいております。</p>
委員長	<p>それでは、これより議事に入ります。委員長である中村委員長に進行をお願いしたいと思います。中村委員長お願いいたします。</p> <p>それでは、進行を務めさせていただきます。</p> <p>議事に入る前に、今回の評価委員会の議事録署名人を決めさせていただきますと思います。山崎委員と榎委員にお願いしたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。</p>
委員長	<p>（山崎委員、榎委員から了解の発言）</p> <p>それでは、議事を進めてまいります。</p> <p>本日の進め方ですが、議事（１）平成29年度業務実績報告について、大学から自己評価の説明をしてもらい、それについてヒアリングを行います。</p>

	<p>次に議事（２）第１期中期目標期間における業務実績見込報告につきましても、大学側の説明を聞いた後、ヒアリングを行います。</p> <p>その後、大学関係者には退席していただき、委員間での意見交換を行います。</p> <p>最後に、議事（３）役員報酬規程の改正について、審議してまいりたいと考えていますので、よろしくお願いします。</p> <p>それでは、議事の（１）について、大学側から資料１の説明をお願いします。</p>
<p>長岡造形大学・ 事務局長</p>	<p>（資料１に基づいて説明）</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>議事（１）について、大学側から説明をしていただきました。</p> <p>委員の皆様からご質問等ありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>９ページの項番４に記載されている「現状入試を正常進化する方向性で」とはどのような意味ですか。</p>
<p>長岡造形大学・ 理事長</p>	<p>文部科学省から高大接続改革に基づく入試制度というものが示されましたが、現在本学で実施している入試制度とほぼ同じ内容でありました。そのため、本学の現在の入試制度を進化させていくことが、高大接続改革に適うことであるという意味でこのような言葉を使用しています。</p>
<p>委員</p>	<p>10ページの項番５で高校訪問などを行ったことが記載されています。地元からの入学者を安定的に確保するためには、地元の高校の先生の声が重要だと思っていますが、主にどのような話が出ていますか。</p>
<p>長岡造形大学・ 事務局長</p>	<p>高校の先生から多く出される質問等については、主に入試に関する内容の質問が多いです。次に大学のカリキュラムについての質問と、学生が授業に付いていけているかという質問が多いです。それから、</p>

委員	<p>県内の学生が少ない理由についても聞かれることが多いです。</p> <p>10ページ項番5の自己評価がa評価になっていますが、平成30年度と平成29年度を比べると、志願者数・受験者数・入学者数のいずれも減っています。ここでの評価基準は何ですか。自己評価の考え方を教えてください。</p>
長岡造形大学・ 理事長	<p>平成30年度と平成29年度の2カ年で比べると、志願者数は減少していますが、5倍近い志願倍率を維持しています。年度間で多少の増減はありますが、5倍近い志願倍率を確保したということは大学として合格ラインだと受け止めています。単純な前年度との比較だけではなく、水準として合格ラインを確保したと考えています。</p>
委員	<p>長岡造形大学の就職状況を見ると、県外に出ていく人が多いと思います。公立化したこともあって、長岡市内で就職してくれる人が増えてほしいという気持ちを持っていますが、大学として工夫されていることがあれば教えてください。</p>
長岡造形大学・ 学長	<p>本学では、カリキュラムの中にインターンシップを設けています。インターンシップ受入先企業の発掘を続けておりまして、かなりの数の実績が生まれています。また、大学院では、企業などと連携して新たな価値の創造や企業の課題解決などの取り組みも始めました。こうした取り組みによって学生と企業の関わる機会が増え、結果として地元志向の学生が増えれば良いのではないかと考えています。</p>
委員長	<p>項番6については、自己評価でc評価としています。書かれている計画と実施状況をそのまま読めば、計画どおり実施しているようにも思いますが、c評価とした考え方を教えてください。</p>
長岡造形大学・ 理事長	<p>定員充足という目標を掲げて大学院再構築を行いました。結果として定員を充足させることができなかつたため、c評価としました。大学院への入学者数は増えましたが、目標には届かなかつたという自己評価です。</p>
委員	<p>12ページ項番16で、「新たな制度として学生からの成績評価への異議申立てを受け付け、」とありますが、学生からはどのような異議申</p>

<p>長岡造形大学・ 副理事長</p>	<p>立てがありますか。</p> <p>自分の成績に対して不満を持っている学生から理由を問われるケースなどがあります。そうした学生に対しては、評価の理由を丁寧に説明して、納得してもらえるように対応しています。</p>
<p>委員</p>	<p>項番6で大学院の話がありましたが、どういう方がどういう期待を持って大学院に入学しているか教えてください。</p>
<p>長岡造形大学・ 学長</p>	<p>自分の専門を社会に出る前にもっと高めていきたいという人、教員になりたいという人、学部の時に自分の学びたい分野があったが機会に恵まれなかったため再チャレンジする人などがいます。また、海外から大学院に入学して、博士を目指したり、日本の心を学ぶ学生も出てきています。</p>
<p>委員長</p>	<p>14ページ項番20でs評価をつけていますが、自分たちが元々狙っていたもの以上のものが出来たということなのか、教育効果がものすごく期待できる環境整備ができたということなのか、自己評価の考え方について教えてください。</p>
<p>長岡造形大学・ 学長</p>	<p>昨年、長岡市長と一緒にシリコンバレーを視察してきて、学生にとって必要な環境を発見することができました。学生同士が自由にコミュニケーションを取りながら創作活動を行う環境や、思いついたアイデアをすぐ可視化する、プロトタイプすることができる設備が必要だと感じて帰ってきました。こうした教育環境というのは、計画段階では想定していなかったことです。しかも類似する日本の学校に比べて一歩先に行く環境です。このような教育環境を急遽整備することができたということで、大学の自己評価をs評価としました。</p>
<p>委員長</p>	<p>32ページ項番58の実施状況を見ますと、文部科学省の海外留学派遣制度を活用して海外に留学する学生を生み出しているようです。このあたりは年度計画を上回るようにも思いますが、大学ではどう評価していますか。</p>
<p>長岡造形大学・ 学長</p>	<p>大学としては、もっともっと海外大学へ派遣学生を増やしたいと考えていますので、この項目は計画どおりに実施したと捉えています。</p>

委員長	次に、議事の「(2) 第1期中期目標期間における業務実績見込報告について」、大学から説明をお願いします。
長岡造形大学・ 事務局長	(資料2に基づいて説明)
委員	42ページの「学生の授業内容満足度」は、どのような方法で測定していますか。
長岡造形大学・ 学長	授業内容について、学生にアンケート調査を実施して測定しています。5段階評価に加えて、記述方式で学生からの要望や意見などを書いてもらうようにしています。また、調査結果に対して、教員から学生にフィードバックするようにしています。
委員	社会では、非常勤職員の雇用止めが問題になっていますが、長岡造形大学ではどのように対応していますか。
長岡造形大学・ 事務局長	非常勤の教員については、1年契約を基本としていますが、今後の対応については検討中です。非常勤職員については、5年間を基本に考えていますが、労使双方で継続の意向が一致した場合には、雇用を延長しているケースもあります。
委員	35ページの人事評価の構築についてですが、教員の評価制度については、具体的にどのような評価方法を検討していますか。
長岡造形大学・ 学長	仕事ごとに点数化していくことを始めたところです。仕事ごとに点数を振ることができれば、教員の働きを客観的に評価できるようになると考えています。
委員長	2点お聞きします。1点は、今後、公立化大学として社会にどのように貢献していこうと考えているか教えてください。もう一点は、公立化後、市外からの入学者が多く、市外への就職者も多いことについて、どのように考えているか教えてください。

<p>長岡造形大学・ 理事長</p>	<p>1点目の社会に対する地域貢献という面では、デザインという特性を生かしながら大きく2つのことをしていきたいと考えています。</p> <p>1つは、地域が持続的に発展していくために、産業界における人材を育成していくことです。学生だけでなく社会人も対象に、デザインを用いて産業人を育成していきたいと思っています。社会人に対するデザインスクールのようなものを提供していきたいと考えています。</p> <p>もう1つは、企業に対して、新製品・新サービスの開発、新産業の創出、起業の促進などのお手伝いをデザインをとおして行っていきたいと考えています。行政に対してはシンクタンクとしての役割も果たしていきたいと考えています。</p> <p>2点目の市外からの入学者が多いこと、市外への就職者が多いことについては、デザインに特化した公立大学ということもあって、全国から学生が入学してくれています。全国から学生が入学してくれることは良いことだと考えていますが、地元に残ってくれる学生をいかに増やしていくかということについて今後検討していく必要があると考えています。</p>
<p>委員長</p>	<p>長岡で教育を受けて、長岡の精神を学んだ学生が、将来、長岡の産業なり市民なり行政なりと、つながりをもった仕事に就いて、全国に散らばってもらえれば良いと考えています。</p>
<p>委員長</p>	<p>さらに質問をさせてもらいますが、学部の中に4つの学科がありますが、収容定員にかなりばらつきがあることを将来的にどのように考えるか。それから、1つだけ「デザイン」という言葉がつかない「美術・工芸学科」を大学の中で、どう位置付けていくか、考えを聞かせてください。</p>
<p>長岡造形大学・ 学長</p>	<p>教員による研究会を立ち上げて、今後の教育の在り方や学部構成の在り方を考え始めているところです。その中で定員についても見直しを検討しています。</p> <p>それから、「美術・工芸学科」の位置づけについてのご質問ですが、社会におけるデザインの役割というものが変わってきていますので、将来を見据えながら、次期中期目標・中期計画の中で考えていきたいと思えます。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p>

	<p>それでは、長岡造形大学の方には、ここで退席していただき、委員の間で評価について審議を行いたいと思います。</p> <p>長岡造形大学のみなさん、ありがとうございました。</p> <p>【大学関係者 退席】</p>
委員長	<p>それでは、委員の間で意見交換を行いたいと思います。</p> <p>まず、議事（１）についてご意見をお聞きしたいと思います。</p>
委員長	<p>項番20でs評価を付けた大学側の説明については、どうでしょうか。</p>
委員	<p>魅力的な教育環境を整備したことは、今後、大学院入学者の増加につながる良い取り組みだと感じました。</p>
委員長	<p>項番58で、海外への派遣学生を増加させた点についてはどうでしょうか。</p>
委員	<p>大学側も言っていましたが、海外大学への派遣をどんどん増加させることが望ましいと思うので、大学の自己評価が適当だと思います。</p>
委員	<p>留学生の受け入れも増やせると、異文化交流ができて良いと思います。</p>
委員長	<p>ほかにご意見はありませんか。</p> <p>（委員から意見なしの発言）</p>
委員長	<p>それでは続いて、議事（２）についてご意見をお聞きしたいと思います。大学の自己評価に対してご意見はありませんか。</p> <p>（委員から意見なしの発言）</p>
委員長	<p>それでは、本日の２つの議事に対する意見交換を基に、事務局で評価書案の作成を進めてください。</p> <p>続いて、議事（３）役員報酬規程の改正について、事務局から説明</p>

<p>政策企画課課長</p> <p>委員長</p> <p>委員長</p> <p>事務局・政策企画課課長補佐</p> <p>政策企画課課長</p> <p>事務局・政策企画課課長補佐</p>	<p>をお願いします。</p> <p>(資料 No. 3 に基づき説明)</p> <p>議事 (3) について、事務局から説明をしていただきました。 特に意見がなければ、評価委員会として「意見なし」としたいと思いますが、委員の皆様よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、これにて議事を終了いたします。 進行を事務局にお戻しします。</p> <p>中村委員長ありがとうございました。 それでは、次第の4その他について、事務局からご連絡します。</p> <p>(次回の評価委員会について説明)</p> <p>これにて「平成30年度第1回長岡市公立大学法人評価委員会」を終了いたします。</p>
<p>9 会議資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 次第・出席者名簿 ○ 資料1 「公立大学法人長岡造形大学 平成29年度 業務実績報告書」 ○ 資料2 「公立大学法人長岡造形大学 業務実績見込報告書」 ○ 資料3 「公立大学法人長岡造形大学役員報酬規程の改正について」 	